

開発経済学・
アジア研究において
顕著な業績を残した
渡辺利夫の著作集。

渡辺利夫 精選著作集

全7巻

予約申込書

ご予約希望の方は必要事項を記入の上、お近くの書店へ
お持ちいただくか、小社まで直接お申し込みください。

勁草書房 営業課

Tel 03-3814-6861 / Fax 03-3814-6854

E-mail k.eigyobu@keisoshobo.co.jp

渡辺利夫 精選著作集

全7巻

2024年11月刊行開始 各巻A5判上製 平均500頁
予価 各巻本体12,000円+税

[] セット予約を申込みます

内容見本 [] 部 希望します

※内容見本をご希望の書店様は希望部数を記入し、
番線印を捺印の上、小社へお送りください。

ご住所 〒

お名前

お電話

書店名・番線印

※ご記入いただいた個人情報は、本書をお届けするためにのみ使用させていただきます。

株式会社 勁草書房

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1

Tel.03-3814-6861 Fax.03-3814-6854

<https://www.keisoshobo.co.jp/>

刊行のことば

開発経済学・アジア研究の泰斗・渡辺利夫の著作は、処女作『開発経済学研究』に始まる。吉野作造賞を受賞した『成長のアジア 停滞のアジア』、大平正芳記念賞を受賞した『開発経済学—経済学と現代アジア』、アジア太平洋賞大賞を受賞した『西太平洋の時代』、等々、その貢献は数多くにわたる。さらに、自身が監修する「東アジア長期経済統計(全15巻)」(小社刊)は東アジア各国の長期経済統計をテーマ別にまとめた貴重な大作である。

本著作集はこれら膨大な著作から、主に開発経済学・現代アジア経済論に焦点を絞って編まれた著作集である。

貧困と停滞のアジアから成長のアジアへの軌跡を観察し、アジア研究への新しい地平を開く。「輸出志向型開発」モデルをはじめ発展途上国を対象とした幾多の開発モデルを用いてアジアの発展を分析する。また、精神医療「森田療法」を創始した森田正馬、俳人・種田山頭火、尾崎放哉を憶う著者の魂の遍歴は読む者の胸に熱い。渡辺利夫の思想空間を堪能してください。

著作集の内容

第1巻 私のなかのアジア

アジア地域を俯瞰的に観察するという視点から、さまざまなアジアの発展現象を追求し、これを自分史に重ね合わせた秀作。

I 『成長のアジア 停滞のアジア』

(講談社学術文庫、2002年)

II 『私のなかのアジア』(中央公論新社、2004年)

ISBN978-4-326-54613-8 2024年11月刊行予定

第2巻 開発経済学研究

整合的で平易な開発経済学のテキスト、ならびに著者の開発経済学の処女作である博士論文。

I 『開発経済学入門 [第3版]』

(東洋経済新報社、2010年)

II 『開発経済学研究

—輸出と国民経済形成—

(東洋経済新報社、1978年)

ISBN978-4-326-54614-5 2024年12月刊行予定

第3巻 韓国経済研究

「対外従属」「軍部独裁」「財閥支配」の暗鬱な韓国論を克服した渡辺・韓国論の真骨頂。

I 『現代韓国経済分析

—開発経済学と現代アジア—

(勁草書房、1982年)

II 『韓国経済入門』(ちくま学芸文庫、1996年)

ISBN978-4-326-54615-2 2025年1月刊行予定

第4巻 中国経済研究

計画経済から市場経済への転換、社会主義市場経済とは何か、そして「海の中国」から「陸の中国」へと向かう発展ベクトルを戦略化した鄧小平の対外開放路線。

I 『中国経済は成功するか』

(ちくま新書、1998年)

II 『社会主義市場経済の中国』

(講談社現代新書、1994年)

III 『毛沢東、鄧小平そして江沢民』

第一章・第三章(東洋経済新報社、1999年)

IV 『海の中国』第III章・第IV章(弘文堂、2001年)

ISBN978-4-326-54616-9 2025年2月刊行予定

第5巻 アジアのダイナミズム

経済発展の過程で生まれた東アジア全域を渦巻くダイナミズムについての考察。

I 『西太平洋の時代

—アジア新産業国家の政治経済学—

(文藝春秋、1989年)

II 『アジア新潮流

—西太平洋のダイナミズムと社会主義—

(中公新書、1990年)

III 『アジア経済の構図を読む

—華人ネットワークの時代—

(NHKライブラリー、1998年)

ISBN978-4-326-54617-6 2025年4月刊行予定

第6巻 福澤諭吉と後藤新平

新時代をどうという精神の構えで迎えたらいいかと戸惑う国民に指針を与えた福澤諭吉、多彩な政治的経歴をダイナミックに展開した後藤新平の思想の原像。

I 『決定版・脱亜論—今こそ明治維新のリアリ

ズムに学べ』(育鵬社、2018年)

II 『後藤新平の台湾

—人類もまた生物の一つなり』

(中公選書、2021年)

ISBN978-4-326-54618-3 2025年5月刊行予定

第7巻 さまよえる魂

神経症を高い文学的才能と結びつけた山頭火、病軀を抱えて引きずる死の影を自由律句に詠いあげた放哉の評伝。

I 『神経症の時代—わが内なる森田正馬』

(文春学芸ライブラリー、2016年)

II 『放哉と山頭火—死を生きる』(ちくま文庫、2015年)

著書一覧

ISBN978-4-326-54619-0 2025年6月刊行予定



◇渡辺利夫プロフィール

拓殖大学元総長、元学長。昭和14(1939)年、山梨県甲府市生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。同大学院

経済学研究科修了。経済学博士。筑波大学教授、東京工業大学教授を経て拓殖大学に奉職。専門は開発経済学・現代アジア経済論。(公財)オイスカ会長。日本李登輝友の会会長。平成23(2011)年、第27回正論大賞受賞。

著書に「成長のアジア 停滞のアジア」(講談社学術文庫、吉野作造賞)、「開発経済学」(日本評論社、大平正芳記念賞)、「西太平洋の時代」(文藝春秋、アジア・太平洋賞大賞)、「神経症の時代 わが内なる森田正馬」(文春学芸ライブラリー、開高健賞正賞)、「アジアを救った近代日本史講義—戦前のグローバリズムと拓殖大学」(PHP新書)、「放哉と山頭火」(ちくま文庫)、「新脱亜論」(文春新書)、「士魂 福澤諭吉の真実」(海竜社)、「死生観の時代」(海竜社)、「台湾を築いた明治の日本人」(単行本:産経新聞出版/文庫本:潮書房光人新社)など。

本体12,000円~15,000円+税(平均)
A5判上製/500頁(平均)